

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 箴 29:25-26 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 53番
- *交読文 …… 19番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 175番
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …… 330番
- メッセージ …… 人を恐れて畏にかかったダビデ(1サムエル記 27:1-28:2)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …… 331番
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告と歓迎 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

祈祷課題

- ・この教会が天の声、すなわち御言葉なるキリストに聞き従い、御心を行う教会であるように
- ・兄弟姉妹達が御言葉をたくわえ、昼も夜も口ずさみ、出るにも入るにも祝福されるように
- ・聖霊に満たされ、弟子の舌が与えられ、大胆にキリストを伝えられるように
- ・主を愛し、御言葉に忠実な、御霊に満ちた働き人、70名が与えられるように
- ・病、貧しさ、悲しみ、捕われの内にある兄弟姉妹のいやし、慰め、解放のために
- ・終末の災い(戦争、地震、飢饉など)に実際に直面している世界の兄弟姉妹達のために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

人を恐れると、わなに陥る、主に信頼する____は安らかである。治める者の歓心を得ようとする人は多い、しかし____の事を定めるのは主による。(箴言 29:25-11)
 神は____の避け所また力である。悩める時のいと近き助けである。(詩篇 46:1)
 ____が主に求めた時、主は____に答え、すべての恐れから____を助け出された。
 主を仰ぎ見て、光を得よ、そうすれば、あなたがたは、恥じて顔を赤くすることは
 ない。この苦しむ者が呼ばわった時、主は聞いて、全ての悩みから救い出された。
 主の使は主を恐れる____のまわりに陣をしいて____を助けられる。主の恵みふ
 かきことを味わい知れ、主に寄り頼む____はさいわいである。(詩篇 34:4-8)

ダビデはイスラエルでは最も偉大な王であり、神からも「わたしのしもべダビデ」と愛された王である。今回は、彼が王になる前に犯した失敗から、私達も陥りやすい畏について学び、次回、その失敗からいかに立ち直って前よりも優れた者になるべきか、そして、主はいかに真実なお方であるかを見たい。

ダビデがサウル王の部下として活躍していた時、彼があまりに有能で、神からも人からも愛されていたので、それを妬み恐れたサウル王は、ダビデを殺そうと、彼をつけ狙うのだが、神はことごとくダビデを守られた。神はダビデに、二度もサウルを殺すチャンスを与えられたが、ダビデは二度とも、主に選ばれた王サウルを殺す事は拒否し、むしろ「憐れみ」「赦し」という、神の前に高貴なわざで、サウルの横暴に勝利した。その勝利の直後、ダビデは彼らしくない失敗を犯す。彼は思い巡らす。このままではサウルに殺されてしまうから、イスラエルを離れ、敵国ペリシテに逃れよう、そうするなら、自分達は生き長らえるだろう、と。この決断は、主に伺った形跡は無い。動機はただ将来への不安・恐れである。それで彼は、礼拝する所のあるイスラエルを離れ、弱肉強食の地・ペリシテへ逃れて行った。今風に言えば、将来を不安するあまり、収入は良いけれどいわゆる「汚れた」仕事へ身を投じ、礼拝から離れた生活に入って行くようなものだろう。ダビデは勇士であり、統率力も人望も実績もある。どこに転職しても、そこそこ上りつめる自信はあっただろうが、神の国から離れ、自分の腕で切り盛りしていこうとする人への「要求」は、どんどん過酷になって行く。

こうしてダビデとその部下600人、そして彼らの妻子全部は、ペリシテの王アキシュの元に身を寄せた。サウルはそれを聞いて、もはやダビデを迫る事を止めた。彼の当初の目論みは「成功」しただろうが、**主に頼らない地、弱肉強食の世界で生活し続けるには、その世界の”実績”を上げ続けなくてはならない。**悪徳業者には騙し・脅しなど、暴力的な性質が「価値」であり、それを訓練して行くように、ダビデはペリシテ王に気に入られようとした時点で、その方面の「実績」を上げ続けなくてはならなくなってしまう。ダビデはそこで「略奪」を”なりわい”とするのだが、彼は表向き、イスラエルの町々を襲っているように見せかけ、実の所、異邦の町を襲って、神の民イスラエルに手をかける事は、かろうじて避けた。しかし、それを通すためには、女子供さえ皆殺しにし、口を封じていたのだ。偽りと、殺しの生活である。『アキシュはダビデを信じて言った、「彼は自分を全くその民イスラエルに憎まれるようにした。それゆえ彼は永久にわたしのしもべとなるであろう。」』(12節) ダビデは確かにペリシテ王の信頼を得たかもしれない。しかしひと度、「ダビデはイスラエルを平気で襲う」と思わせてしまったなら、その方面のプロとして見られてしまい、その方面の要求はさらに過酷になって行き、ついには、最も望ましくない事を要求されてしまう。

ある日、ダビデはアキシュから「一緒にイスラエルと戦おう」と持ちかけられ、彼はそれを”快諾”してしまう。それでダビデは一層アキシュの歓心を得、生涯、護衛長として雇おう、という確約も得た。周りからは、僅か一年数ヶ月での大昇進だ、となるだろうが、彼は果たしてその”終身雇用”の保証を喜べたのだろうか。彼の妻になったばかりのアビガイルは、ダビデは必ずイスラエルの王になると確信していたが、彼女はこんなダビデをどう思ったのだろうか。とてつもない嵐が、彼の心に吹き荒れていたのではなからうか。自分はなんという生き方へと嵌り込んでしまったのだろう、なんという生き方へと、妻子や部下たちを導いてしまったのだろう、こんな事なら、サウルに追われながらも、神様との健全な関係の内に、信仰者として恥じない生活を、神の民としての誇りをもって生きていたほうが、どんなに良かっただろう、と。そしてその大きな後悔は、彼の後の「信仰者としての人生」に、強固な補強剤となっただろう。

『人を恐れると、わなに陥る、主に信頼する者は安らかである。治める者の歓心を得ようとする人は多い、しかし人の事を定めるのは主による。』(箴言 29:25-11)
 神から離れ、世に取り入ろうとするクリスチャンは、必ずダビデのこの葛藤に陥る。しかし、それでも主を求め、自分のどうしようもない弱さ、罪を後悔し、悲しみ、主に助けを求める人は、主が必ず助けて下さる。それはもちろん、簡単にはないだろう。痛みを伴った、少々荒治療的ではあるけれど、主は、愛する聖徒を、まさかさまに倒すという事はされない。次回、主がいかに憐れみをもって導いて下さり、そしてダビデがいかに信仰にあって立ち直り、以前よりもさらに強固になったのかを見て行きたい。

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30~
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00~

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:30~

水曜礼拝

1部 13:00~
2部 19:30~

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube